

国際農業工学レポート

レポート課題

農業農村整備事業における建設コンサルタントの役割について述べよ。

また、本日の講義で最も印象に残ったキーワードを一つ取りあげ、その理由を述べよ。(A4レポート1-2枚)

建設コンサルタントとは

行政（国、都道府県、地方自治体）から国民に必要と考えられた事業の発注を受け、まず、その事業について検討、評価を行う。その後、事業が決定すると地質の調査、測量を行い設計図をつくる。その設計図を基にゼネコンと協力し工事の施行を行うのが主な仕事である。主な農業農村整備事業には農業水利事業・農地防災事業・農地整備事業の三つの事業が挙げられる。一つ目の農業水利事業では、農業用水の安定供給と排水の改良を図るためダム・頭首工・用排水路・用排水機場の整備を行う。二つ目の農地防災事業では、集中豪雨や台風に備えたため池の整備や、地滑り対策を行う。三つ目の農地整備事業では、生産効率を上げるために水田の区画整備や、灌漑施設の整備を行う。また近年、海外事業の発注も増えてきているため日本だけでなく世界各地での業務にも関わっている。

キーワード：ストックマネジメント

農業だけでなく生活していく上で必要不可欠な水を運搬するための幹線水路の耐震化工事や併設工事などは、人の生活に直結している分責任は大きいが非常にやりがいがあるものだった。また、現在の自分たちの生活を支えている日本全国の水路の総距離が地球十周分もあるとは過去の技術者・建設者に感謝したい。